臨床研究に関する公開情報

令和元年６月１３日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが､対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし，下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は，下記連絡先にご連絡くだされば，解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

＜概要＞

研究課題名：　救急外来を受診した患者での高感度心筋トロポニンＩ測定の有用性の評価

研究期間：2019 年６月から 2021 年６月までを予定しています。

対象：2016 年９月１日から 2017 年８月 31 日に兵庫県立尼崎総合医療センターにて
救急外来を受診しトロポニンＩを測定した患者

研究目的：

心筋トロポニンは急性心筋梗塞の診断に有用なバイオマーカーであるが､高感度心筋トロポニンＩの日本人における最適なカットオフ値に関する検証はなされていない。また、心筋トロポニンＩは心不全、腎不全、心筋炎、急性肺血栓塞栓症、肺塞栓症など心筋梗塞以外の原因による心筋障害でも上昇するが、疾患群ごとのトロポニンＩ値の分布、予後予測に関しても検証している研究は少ない。よって本研究では、救急外来を受診した患者での高感度心筋トロポニンＩ測定の有用性評価を目的とする。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、トロポニンＩ､腎機能、カテーテル検査・治療歴等があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：研究責任者：　佐賀　俊介　　兵庫県立尼崎総合医療センター　循環器内科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL：　06-6480-7000（代表）
FAX：　06-6480-7001